

こまがた だより

社会福祉法人 昭徳会

基本理念 しあわせ
「幸福」

第38号 令和6年10月発行

基本方針



1. ひとりひとりに、思いやりの心を持って接します
1. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
1. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
1. 私たちは、全ての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
1. 私たちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます



子どもたちの将来を見据えて

施設長 濱田 光男

全国の児童養護施設を所管する子ども家庭庁の資料「社会的養育の推進に向けて（令和6年4月）」では、児童養護施設で生活する入所児童数は低下傾向（H23;約2.9万人⇒R3;約2.3万人）にあるものの、入所前に虐待を受けた児童は約7割に及び、全体的に障害等のある子どもの割合も4割強となっており、その中でも「知的障害（12.2%）」「注意欠陥多動性障害;ADHD（13.3%）」「広汎性発達障害;自閉症スペクトラム（13.0%）」が大きく占められているそうです。一方、文部科学省の資料「これからの通信制高等学校の在り方について」（令和5年11月13日）では、小・中学校における不登校の状況について、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は31.7人（約29.9万人/前年度25.7人）とあり、不登校児童生徒数は10年連続で増加（過去最多）とされています。さらに高等学校において1,000人当たりの不登校生徒数は20.4人（約6万人/前年度16.9人）であり、中途退学者の割合は1.4%（約4.3万人/前年度1.2%）とされていました。昨今は、通信制高校の学校数及び生徒数も増加傾向にあります。通信制高校に在籍する生徒の実態等としても「小・中学校における不登校経験がある」「ひとり親家庭」「特別な支援が必要」「心療内科等の通院歴がある」等の傾向が示されており、通信制高校がこれらの児童生徒の受け皿になっていることが伺えました。社会的養育を必要とする子どもたちにとって高校卒業は一つの目標かつ通過点ですが、社会へ出ていくための必要条件と考える子どもたちも多いのが現状ですので、子どもたちの将来に少しでも寄与できるよう日々の支援を繋げていく必要があると、改めて感じさせていただきました。





総合防災訓練



8月26日に総合防災訓練を行いました。火事と地震を想定した訓練でしたが、毎年行っていることもあり全員が真剣に参加する事が出来ました。その後は幼児と学童に分かれて、それぞれ防災について学びました。幼児では手作りカルタを利用して知識を深めたり、実際に消火器を使った消火器訓練をして楽しみながら学ぶ事ができました。学童では実際に起きた地震の様子を映像で見て災害の恐ろしさを知った後、災害が起きた際の避難



方法について学びました。また、災害時に備えてAEDを用いた実践練習を行いました。初めて使うAEDに初めは戸惑いつつも、消防署の方の説明を真剣に聞いて実践に取り組んでいました。心臓マッサージは想像より難しく、何度も挑戦してみる児童もいました。南海トラフ地震が危惧されているなかの総合防災訓練となり、児童と一緒に今回の訓練を受けた職員等も、今後さらに災害に備えた対応をしていく必要があると痛感しました。今回の訓練だけでなく、定期的に実施している避難訓練も活かしながら、子どもたちの安全を守れるようこれからも尽力していきたいです。



夏休みの思い出



今年度も無事、夏季恒例行事の海水浴と洞戸キャンプが実施されました。海水浴では、冷たい水に触れ涼しさを感じつつ、水かけ対決では子どもも職員も大はしゃぎでした。魚やヒトデなど、海の生き物にも触れ合いました。夜にはみんなで花火をして、星を眺めながら夏らしさを堪能しました。キャンプでは、流しそうめんを楽しみました。BBQでは、調理や盛り付けを手伝ってくれる子どもも多く、職員も子どもたちの成長を身近に感じられました。みんなが楽しみにしていたのは川遊び！冷たく透き通った川に子どもは大はしゃぎでダイブしていました。魚やオタマジャクシなども泳いでおり、皆で協力して捕まえようとする姿もありました。夜はチームに分かれて室内レクをしました。職員も参加して、楽しく体を動かして遊びました。



帰りの道中では遊び疲れて眠っている子や、反対に「まだまだ遊び足りない！」と既に来年を楽しみにする声もあり、とても楽しめた様子が感じ取れました。

今年の夏も、自然に囲まれながら素敵な思い出が出来ました。





絵画展



今年も名養協主催の福祉施設絵画展が開催されました。題材も画材も自由なので、毎年個性豊かな作品が出来上がります。外出での思い出、学校行事や風景など、心に残っている場面を思い出しながら白い画用紙いっぱい伸び伸びと描く子どもたち。絵を描いている間もとても賑やかな明るい雰囲気、子ども同士で互いの絵を褒め合う様子も見られました。和気あいあいとした子どもたちに、見ていた職員たちもほっこりした気持ちになりました。

入賞した作品は、7月から8月にかけて篠島で展示されました。試行錯誤を重ね描いた自分の絵が展示されていることを知ると、「私の絵が飾られてたんだよ！」と嬉しそうに話している姿もありました。



8月末日には入賞作品の表彰式に出席しました。緊張した面持ちで参加する子どもたちでしたが、しっかり表彰台に立って賞状を受け取ることが出来ました。

毎年素敵な絵を描く子どもたちから来年はどんな素敵な作品が生まれるのか、職員もとても楽しみです。



駒方レシピ たまご蒸しパン



卵の風味がとても豊かで
おいしいですよ！

材料(6~7個分)

・ホットケーキミックス	150g	・砂糖	50g
・卵	2個	・サラダ油	大さじ2
・牛乳	50cc		

作り方

1. ボールに卵を割り入れ、よくほぐし、砂糖とサラダ油を加えてよく混ぜ、牛乳も加えて混ぜる。
2. (1) にホットケーキミックスを加え、ダマがなくなるまでよく混ぜる。
2. 耐熱容器にマフィンカップを入れて生地をカップの七分目まで流し込む。(多すぎると蒸した時に溢れてしまうため)
3. 中火で10分蒸らして出来上がり！



☆食べきれない時は冷凍保存がおすすめです。1個ずつラップに包み、冷凍保存袋に入れて冷凍します。解凍は濡らしたキッチンペーパーに包んで電子レンジで温めると、ふわふわが復活します。





いつもありがとうございます

～当施設へ支援をしてくださった方々のご紹介～



【R6.5～9月分】

(株) 名古屋食糧代表取締役社長 則竹功雄様、(有)てふや菓子処様、山口統平法律事務所様、(株) チュチュアンナ様、真野健二様、(株) イーグルライン 鈴木敏也様、社会福祉法人 中部善意銀行様、相澤あつ子様、(株) ソロピッツァチェザリ様、金田和久様、愛知県信用農業共同組合連合会様、(株) オープンハウス・ディベロップメント名古屋事務所様、南山協会様、東海アイスクリーム協会 理事長 山田健太郎様、田中尚己様、中部トーハン会 (株) トーハン名古屋支社様、(株) 加賀産業様、(株) コストコ ホールセールジャパン 中部倉庫店様、(株) コカ・コーラボトラーズジャパン 中部日本営業本部 愛知チェーンストア営業部 営業部長 竹野晃正様、八事山興正寺様、山西祥子様、(株) 桜井食品様、トヨタシステムズ 総務部社会貢献推進グループ様、NPO 法人 The MusicRestaurant 様、パティスリーアン様、(株) タカヨシ わくわく広場 (イオンタウン千種店) 様、小栗淳子様、鈴木健二様、エムアンドエヌ株式会社 (株) 杉本組 代表取締役 杉本憲昭様、森勝弘様、世界メシア協会様、親切会 中部支部様、食卓クラブ様、佐藤卓磨様、福山ミナコ様
(順不同)



★学校行事予定★

10/15～16 小学校修学旅行 10/23 学校公開日 10/26 幼稚園運動会 11/15 小学校作品展 12/23 終業式

♪施設行事予定♪

**10/26 ハロウィンウォークラリー
11/10 感謝祭
12月 フットサル大会本選 クリスマス会**

《編集後記》

夏休みの様々な経験を経て、子どもたちは一回り成長しました。子どもたちの成長と施設の取り組みが広報紙を通してお伝えできていれば幸いです。



児童養護施設 駒方寮
広報委員

会議室や地域交流スペースの利用を希望される方は施設へご連絡ください。

“地域との共存” “地域への貢献” ができる施設を目指しています。

【発行元】 社会福祉法人 昭徳会 児童養護施設 駒方寮

〒466-0831 名古屋市昭和区花見通二丁目4番地1

Tel (052) 831-5173 Fax (052) 835-5016 [http:// www.syoutokukai.or.jp/komagataryo/](http://www.syoutokukai.or.jp/komagataryo/)

